

平成 27 年 6 月 1 日

各 位

会 社 名 株式会社カイオム・バイオサイエンス
代表者名 代表取締役社長執行役員 CEO 藤原 正明
(コード：4583 東証マザーズ)
問合せ先 取締役執行役員 CFO 清田 圭一
(TEL. 03-6383-3746)

ADLib® axCELL に関する米国特許査定のお知らせ

このたび、当社基盤技術の一つである ADLib® axCELL に関する米国出願について、特許査定を受領いたしましたので、お知らせいたします。

今回、特許査定を受領した発明は、従来技術では抗体を作製することが困難であるような、複雑な構造を持つ膜タンパク質に対する抗体取得を可能にする技術に関するものです。本特許はすでに中国、日本で特許が成立しており、欧州にも出願済みです。本特許の成立により、ADLib®システムに関する知的財産権がさらに強固に保護され、事業における優位性を高めることとなります。

【発明の名称】 「細胞表面に発現したタンパク質に対する抗体作製法」

【特許出願番号】 13/132,462

【特許権者】 株式会社カイオム・バイオサイエンス

当社では、本技術を活用して、これまで多くの医薬品の標的となってきた GPCR などの複数回膜貫通型の膜タンパク質やがん、炎症性疾患等に関わる受容体型の膜タンパク質をターゲットとした抗体の取得を進めております。特に複数回膜貫通型タンパク質は創薬標的としてのニーズが高いとされていますが、抗体作製の困難性から複数回膜貫通型タンパク質に対する抗体医薬の開発品はこれまで数えるほどしかありません。

当社の基盤技術である ADLib®システムの抗体ライブラリとこの抗体取得応用技術である ADLib® axCELL を組み合わせることで、がんや自己免疫疾患、感染症等の治療に有用な新規リード抗体の取得を行い、製薬企業等との共同開発、導出などの提携を通じて、患者の皆様へ安全かつ有効な抗体医薬品を提供することを目指して参ります。

今回、米国で査定された当該特許は、当社の経営基盤をより盤石にし、中長期的に当社の企業価値の向上に寄与するものと考えております。

なお、本件が平成 27 年 12 月期通期業績に与える影響はありません。

<ADLib® axCELL (アクセル：antigen expressing cell の略)>

ADLib®システムの応用技術の一つで、当社が独自に開発した膜タンパク質に対する新しい抗体取得技術です。この技術は細胞表面に発現させた膜タンパク質に対する抗体を効率的に選別します。より自然な三次元構造を維持した状態の膜タンパク質を抗原として用いるため、従来技術では困難とされていた複雑な構造の膜タンパク質に対する抗体の取得が可能になります。

なお、ADLib®はカイオム・バイオサイエンスの登録商標です。

<GPCR (G-Protein Coupled Receptor、G タンパク質共役型受容体)>

GPCR で総称される膜タンパク質群は、生命維持に不可欠な生理機能に深く関与しており、また、多岐にわたる疾患の創薬標的として広く認知され、GPCR を標的とした多くの低分子医薬品が創製されております。その一方で、創薬標的としての GPCR には未開拓領域も多く存在し、産学問わず GPCR に対する創薬研究が積極的におこなわれております。

<ADLib® axCELL 技術情報>

<http://www.chiome.co.jp/technology/adlib.html#axCELL>

以 上